



# 進路だより

NO. 2 令和7年12月23日発行

村上桜ヶ丘高等学校 進路指導部

12月末現在の3年生進路内定状況です。

## 【今年度の民間就職内定先】(人) 所在地別

村上市	胎内市	関川村	新発田市	新潟市	県内	県外
6	3	0	1	0	1	0
公務員						
0						

今年度の就職試験においては、生徒一人ひとりが自己分析や面接練習に真剣に取り組み、着実に努力を重ねてきました。その結果、応募者全員が内定を勝ち取るという素晴らしい成果を収めることができました。最後まで粘り強く準備に励んだ生徒たちの姿勢を、心から讃えたいと思います。

一方で、公務員試験については、残念ながら今年度は合格者を出すことができませんでした。この結果を真摯に受け止め、次年度以降の対策強化に繋げていきます。

○成功の秘訣は「2ヶ月間」をどう迎えるか

現在の就職活動は、7月の求人票公開から9月の試験開始まで、実質「2ヶ月」という超短期決戦です。この短い期間で企業選び、試験対策を完了させるのは至難の業です。

そこで重要なのが、「自分の目で見ること」です。

- ・社名だけで判断していませんか？
- ・実際の職場の雰囲気や、働いている人の表情を知っていますか？

本格的なスタートを切る前に、様々な企業を見学し、仕事の様子を肌で感じる体験は、自分にぴったりの職場を見極める上で何よりも大切です。動き出しが遅くなれば、それだけチャンスは減ってしまいます。来年度に就職を控える皆さんには、今から情報収集のアンテナを高く張り、準備を始めていきましょう。

## 【今年度進学先】(人)

国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校
0	27	1	67

大学受験において、本校では多くの生徒が「学校推薦型選抜」や「総合型選抜」で挑戦していますが、一方で「一般選抜」や「共通テスト利用入試」を選択した生徒もいます。これらの試験は1月以降に本番を迎えるため、今はまさに正念場です。最後まで粘り強く戦い抜けるよう、心から健闘を祈ります。

進路実現への道のりは、決して平坦ではありません。一度のつまずきで諦めてしまえば、次への展望は開けません。たとえ壁にぶつかったとしても、それを大切な経験として受け止め、自分を信じて一歩ずつ前へ進んでいきましょう。

## ○1・2年次のみなさんへ

進路選択は、ある日突然決まるものではありません。日々の積み重ねの先に、納得のいく道が見えてきます。1年生は「準備」の期間、2年生はいよいよ「行動」へ移る時期です。「準備・行動・挑戦」のサイクルを意識し、より良い選択ができるよう今から動き出しましょう。

### (1) 自分はどうしたいのか

私たちは、人生でどのくらいの期間働くのでしょうか。現在は年金の支給開始年齢が上がったこともあり、少なくとも40年以上の歳月を仕事と共に歩むことになります。働くことは「生きがい」であると同時に、生活を支えるための「大切な資金を得る」手段でもあります。

まずは、「自分はどのような仕事に就きたいか」を真剣に考えてみてください。高校卒業後にすぐ就職する道もあれば、大学や専門学校を経て初めてたどり着ける職種もあります。進学を希望する場合、当然ながら入学試験を突破しなければなりません。準備期間が長ければ長いほど、より多くの対策を講じ、選択肢を広げることができるのは言うまでもありません。

### (2) 保護者と相談する

自分の将来は、基本的には自分で決めるものです。しかし、自分のことを客観的に100%理解するのは難しいものです。みんなの成長を一番近くで見守ってきた保護者は、あなたも気づいていない長所や適性を知っているかもしれません。

また、進学には多額の費用がかかります。自分の希望と家庭の状況をすり合わせる意味でも、保護者との話し合いは不可欠です。今のうちから、自分の考えをしっかりと伝えておきましょう。

### (3) 今、やるべきことは何か

就職・進学のどちらにおいても、多くの場合「面接試験」が行われます。面接官が知りたいのは、「あなたがどのような高校生活を送り、困難にどう向き合える人物か」ということです。

例えば、次のような答えだけでは不十分です。

「部活動を頑張りました」

「勉強を頑張りました」

これでは、具体的に何を得たのかが伝わりません。

面接官が求めているのは、次のようなエピソードです。

「目標実現に向けて、このように工夫して取り組みました」

「このような苦労がありましたが、こうして乗り越えました」



このように、自分の言葉で具体的な「プロセス」を語れる高校生活を送ってください。日々の小さな努力や工夫が、将来のあなたを助ける強力な武器になります。